



From the editor to the World Peace Pageant 2022

エディターから「広島G7サミットへの提案」について

GOOGLE MULTI-LANGUAGE TRANSLATOR(翻訳アプリ)

次期G7サミットが2023年5月、広島で開催されることが決定した。核大国、ロシアのウクライナ侵攻で核戦争の脅威が一段と高まるなか、G7首脳が人類初の被爆地ヒロシマの実相に触れ、核のない世界平和の実現に向き合ってどのようなことを話し合い、どのような結論を導き出すのか、広島サミットの果たす役割と期待は大きい。国や人種の垣根を超え、世界平和運動のすべてのベクトルを次期G7サミットに向けて収束させ、非核化への展開を促進していく大きなチャンスでもある。

ただ非核化を取り巻く世界情勢は厳しい。一方的に核戦力を警戒態勢に置くと警告しウクライナ侵攻を続けるロシアの他にも、核を手段として独自の目標を達成しようとする動きは、北朝鮮やイランでも看過できない。その背景には、世界の分断化が核保有大国間の核兵器削減交渉を停滞させ、同盟国の核の傘入りを助長している。これらの問題を全て広島サミットで解決することは無理にしても、喫緊の核戦争の危機を回避し、恒久的な非核化への糸口が見つかることを期待したい。

世界平和ページェント2022は、世界平和を願う人々からヒロシマG7サミットへの提案を募りその一助としたい。提案内容は自由であるが、以下の分野において多くの有益な意見や希望が寄せられることを願っている。

- 1、ウクライナ和平に関する提案
- 2、核拡散防止条約(NPT)の批准
- 3、ロシアのウクライナ侵攻同様、度々国際紛争の火種となる一方的な「国益優先」を阻止する新しい国際秩序の確立
- 4、機能不全に陥った国連の安保理の正常化
- 5、カーボンニュートラルなどの地球環境保全運動と非核運動の融和性と連携について
- 6、グローバル平和教育(日常生活における非核化への意識改革)

以上

2022年8月5日

ライブフォーラム(NPO)代表 木村正弘